

西本 章 議 会 報 告

福山市議会 市民連合

2023年 7月18日 NO. 77

編集 西本 章 後援会事務所
福山市引野町一〇五二二二
TEL 〇八四(九二六) 五四四一
FAX 〇八四(九二二) 五二二二

社会状況

暑中お見舞い 申し上げます

和への道につながることを期待します。

通常国会は6月22日に閉会しましたが、LGBT問題や出入国管理法案など、本質を避けた法案が成立し今後課題を残すものになりました。年内にも衆議院の解散が言われていますが、選挙体制が充分に取れないままの選挙にだけはしほけません。

市長の6月議会総体説明より

6月定例会冒頭の総体説明では、1点目は、地域の活力再生について、仮称子ども未来館、人材の育成を中心とした、活力と希望があふれるまちの実現に向けた取り組み。2点目は、福山ネオポロの更なる強化と、安心・安全な生活基盤の整備を中心とした、安心・快適な暮らしの実現に向けた取り組み。その2点について、具体が述べられました。

補正予算案について

今回の補正予算の中心は、市民生活の安心・安全にむけた生活支援で、原油価格・物価高騰対策として、住民税非課税世帯等に対し、1世帯3万円の給付金を支給します。約6万世帯が対象となり総額は億5千万円が決定しました。省エネ家電買い替え支援事業補助金は、4億8千万円が決定。また、新型コロナウイルススワクワン接種事業を含む、新型コロナウイルス感染症対策分として17億8千万円の予算が決定し、総額では48億1千万円となりました。諸物価の高騰が続く中において、市民の安心・安全のための施策であり、予算の早期執行を求めました。

6月議会一般質問から

昨年の月定例会以来約10ヶ月振りに一般質問を行いました。

今回は、今回の一般質問には後援会の仲間が激励の傍聴に来てくださり、元気をもらって質問びびりませんでした。

質問は4項目でした。まず、年齢65以上の増額となった国民健康保険税について、障がい者のグループホームについて、障がいを持つ子どもたちを中心に利用されているサポートファイルについて、これらで約45万冊の図書が廃棄された学校図書館問題について行いました。

質問の真体は同封の市民連合を参照していただきたいと思いますが、この紙面では学校図書館整備事業について述べます。これまでも本会議や常任委員会でも質問・提起をしてきましたが、今年度より年度最終年度となるこの事業の問題点について追求しました。監修者の選定、大量の図書廃棄等様々な問題を含んでいます。私の一般質問前日の新聞報道でも問題の提起がされました。

新しく図書運営委員会設置の方針も出されましたが、これまでの事業運営についての課題は整理のないままのものでした。何が課題となり運営委員会が必要なのか問いただしても、明確な答弁はありませんでした。これからの子どもにとってより良い学校図書館になるよう、質問・提案を続けようと思っています。

予算特別委員会討論原稿から(西本質問関係)

市長は、コロナ禍において、市民生活は依然として厳しい状況が続いている。これまで財政調整基金を使うなど市民負担軽減を図ってきたが、県統一化に向けた動きの中で、今年度の保険税の値上げが提案された。国民健康保険の多くの加入者の生活実態を考えれば、国において制度のあり方を含め検討するところ、国のさらなる支援を求めることも喫緊の課題である。国民健康保険は市民の命と健康にとって大切な制度でもある。それだけに今回の値上げも最小限に抑えられなければならないが、次年度の県統一を視野に入れば値上げもやむを得ない。今後の施策展開においては、市民生活の厳しい実態を踏まえ、国を含めた抜本的な対策等を考えることを強く要望する。』



蔵王雨水幹線工事 現場を見学

市東部の手城川流域では大雨の度に春日・南蔵王・深津・引野地域で床上・床下浸水の被害が続いていました。市長の「二度と床上浸水被害を出さない」との強い決意で始まったこの事業では雨水貯水場の整備や川底の掘削、ポンプ場の整備等々が取り組まれてきました。

その総仕上げとなるべく、雨水排水トンネル「蔵王雨水幹線」の工事が国・県・市の連携で進んでいます。南蔵王町から明神町まで延長約3.2キロのトンネルとポンプ場の整備を昨年10月から始め、来年3月に完成予定です。5月21日に工事現場の見学説明会があり参加しました。地下に入り、工事の状況も見ていただき、工事規模の大きさに改めて驚きました。無事に工事の早期完成を祈ります。

地域不れあいサロンに参加して

ある地域のふれあいサロンの講師に招かれ、話をさせていただきました。月一回みんなが会費を払い、集まり、話し、交流、学習をお弁当を受け取って解散されているとのことでした。またお茶を飲む会もあり、毎回の参加を楽しみにされているそうです。こうした会が多く地域でできれば、高齢者の孤立はなくなると思っています。

私は絵本の読みかせや地域づくりなどの話をさせていただいてきました。

